

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、板屋圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和5年12月18日（月）14時から16時まで
参加者	委員：24人 事務局：11人 その他：2人
場所	福祉交流センター 小ホール
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 地域包括支援センター板屋圏域協議体 会長</p> <p>3. 協議内容</p> <p>① 前回の振り返り 生活支援コーディネーターより説明。</p> <p>② 「男の料理教室」について（地域包括支援センター板屋） 10月16日に開催した料理教室について、地域包括支援センター板屋より報告。 【目的】 ・介護に加えて慣れない食事作りについて負担を感じやすい男性介護者の方を対象に、簡単に栄養のある料理を学んでもらう。 ・介護を抱え、孤立しがちな男性介護者の方も参加しやすく交流できる場をつくる。</p> <p>③ 対応事例報告（相生地区シニアクラブ連合会 会長） 10月に地域で認知症と思われる方を発見し、保護をされた内容について報告。 認知症サポーター養成講座で学んだ内容が役立ったこと、今後も認知症を知る人が増えていくことを期待したいと話された。</p> <p>④ 『認知症』を知る ～介護経験者・支援者の視点から～</p> <p>■社会福祉法人三幸会 松城デイサービスセンター 認知症対応型施設として、利用者への支援やご家族の思い、困りごとなどを中心に話をいただいた。</p> <p>■小豆餅自治会会長 ご家族を介護された経験についてお話された。</p> <p>⑤ グループワーク 4 グループに分かれて、わたしたちが認知症の方にできることをテーマに意見交換を行った。</p> <p>4. 事務連絡</p> <p>5. 閉会 地域包括支援センター板屋圏域協議体 副会長</p>
今後の見通し等	<p>今回は、さまざまな視点から認知症を学ぶことを目的に会議を開催。日々施設で認知症の方の支援を行う立場からの視点、ご家族を介護された経験のある方からの視点での認知症の方に必要な支援について考えることができた。また、対応事例報告での話により、認知症について正しく知ることが地域で認知症と思安全な保護へつながるのだと再認識することができた。誰しもなりうる認知症について、地域に住む人が正しく理解し支える人が増えるような支援について検討していきたい。</p>

